

あいちの印刷

7

2026.7

No.656



安乗埼灯台（三重県志摩市）

もくじ

■ 巻頭言「安全は未来への投資 ― 職長教育が生む“強い現場”」	3
■ 愛印工組・通常総会 酒井丸2期目船出、新たな舵取りを決意	4
酒井理事長挨拶	5
愛印協組・通常総会 組合会館の維持管理とバックアップ体制	6
令和8・9年度執行部及び委員会編成図	7
■ JBMIA デジタル印刷物への環境ラベル	8
■ PICKUP NEWS 経済産業省・中小企業庁 「はばたく中小企業・小規模事業者300社」	9
中小企業庁「省力化ナビ」	9
JAGAT Page2027の概要発表	10
■ *2026年版中小企業白書・小規模企業白書 「稼ぐ力」を高め「強い中小企業」へ	10
■ 「ペーパーサミットJAPAN」のご案内 紙を知り、紙で遊ぶ「ペーパーサミットJAPAN」	11
■ お知らせ 人財育成・経営委員会 令和8年度「印刷現場の職長教育」	12
全印工連 令和8年度「印刷営業講座」開催	12
愛印工組と関連業者「親睦ゴルフコンペ」のご案内	12
■ 編集だより	12

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM

「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

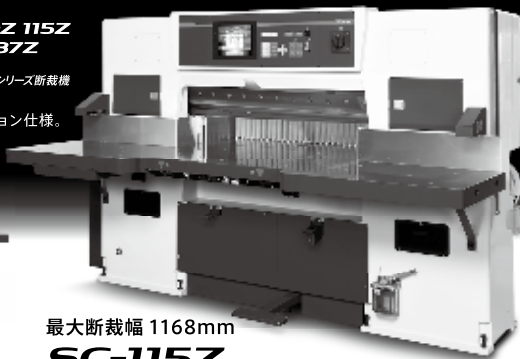
SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

Safety
Speedy
Smart

ITOTEC

CIP4
CIP4に対応
(オプション)

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp

本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台



巻頭言

「安全は未来への投資 —職長教育が生む“強い現場”—」

人財育成・経営委員長 堺 貴弘

日頃より当組合の事業運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度より発足いたしました人財育成・経営委員会の委員長を拝命いたしました、堺と申します。微力ではございますが、皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年4月1日の法改正により、労働安全衛生法の「職長教育」の対象に新たに「印刷物加工業」が加わりました。これに伴い、現場で作業者を指導・監督する職長（管理職）には、12時間以上の安全衛生教育が義務化されています。法令対応という側面はもちろん重要ですが、経営の視点から見れば、安全への取り組みは“コスト”ではなく、企業の将来を支える“未来への投資”と言えるものです。現場の安全意識が高まることで、品質の安定、生産性の向上、離職防止、さらには職場の雰囲気改善など、多方面にわたる効果が期待できます。安全を強化することは、企業の信頼性を高め、持続的な成長を支える基盤づくりにも直結します。まさに「安全は未来への投資」であり、その中心的な役割を担うのが職長教育なのです。

当組合の職長教育は、印刷現場の実情に寄り添った実践的な内容を重視しています。危険予知や作業手順の見直し、コミュニケーションの取り方など、現場で実際に起こり得る事例をもとにした副教材を

活用し、グループワークを中心に進行することで、受講者同士が率直に意見を交わし合える場をつくっています。他社の取り組みや悩みに触れることは、日常業務では得がたい貴重な学びであり、自社の現場を見つめ直すきっかけにもなります。こうした気づきが、具体的な改善のヒントを持ち帰ることにつながり、現場の安全レベルを一段引き上げる原動力となります。

受講者からは、「同じ課題を抱えていることが分かり安心した」「他社の工夫が参考になった」「現場に戻ってすぐ改善に取り組み始めた」など、前向きな声が多く寄せられています。こうした学びの積み重ねが現場の力を底上げし、安全文化を育てていきます。管理職（職長）だけでなく、将来のリーダー候補や若手社員にとっても、組織の成長と人財育成の両面において、大きな意味を持つ機会になるものと考えております。

当組合では今年も、より多くの企業にご活用いただけるよう、教育内容の一層の充実と運営体制の強化に努めてまいります。職長教育を通じて、皆さまの現場がより安全で、より働きやすく、そしてより強い組織へと成長していく一助となれば幸いです。結びに、皆さまのご健勝とますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での
働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミナolta ジャパン株式会社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1 広小路本町ビル7階
プロフェッショナルプリント事業部 プロフェッショナルプリント事業部 中日本営業部



共に印刷の未来を創る

つながるプリントラボ

<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



■愛印工組・通常総会



創立70周年を経て

令和8年度通常総会の席上、2期目の船出にあたり所信を述べる酒井理事長

新時代への変革とレジリエンスを誓う

愛知県印刷工業組合（酒井良輔理事長・愛印工組）は、5月20日午後4時より名古屋・伏見の名古屋観光ホテルにおいて、令和8年度通常総会を開催した。総会は前半の部で、令和7年度事業報告及び決算、令和8年度事業基本方針案及び予算案承認の件など、上程議案の審議が行なわれいずれも承認された。後半の部では、令和8年度事業計画及び各委員会事業が詳細に説明された。なお、今年度は理事・監事の改選が行なわれ、酒井理事長2期目の続投が決まり酒井丸は船出した。

■2期目の執行部誕生

総会前半の部では、第1号議案「令和7年度事業報告及び決算関係書類承認の件」、第2号議案「令和8年度事業計画及び収支予算承認の件」、第3号議案「経費の賦課金及び徴収方法決定の件」、第4号議案「令和8年度常勤役員報酬額承認の件」、第5号議案「令和8・9年度理事・監事承認の件」などが審議されいずれも承認された。なお、議事終了後、臨時理事会が招集され、三役選任の件が審議された。

事業報告の中で酒井理事長は、「愛知県印刷工業組合は、昭和30年の発足以来、先輩方の並々ならぬ努力と、組合員の皆様の温かいご協力により、昨年度に創立70周年という大きな節目を迎えることができた。また、これからの印刷業界を担う有能なクリエイターを発掘・育成することを目的にポスターグランプリを開催してきたが、一昨年をもって同事業を終了した。それに代わり『共に歩み、未来を拓く』をテーマとするレジリエンスアワードを新たに創設開催した。この賞を

通じて、今後も業界全体に光をあて、さらなる変革を進めて行く」と述べた。

来賓を迎えて行なわれた総会後半の部では、臨時理事会で、令和8・9年度を担う新たな執行部及び委員会の新体制が決まったことが報告された。

▼新執行部（敬称略）

- 理事長＝酒井良輔（知多印刷㈱）
- 副理事長＝田中賢二（神田印刷工業㈱）
- 副理事長＝箕浦靖夫（名鉄局印刷㈱）
- 副理事長＝竹倉幹雄（半田中央印刷㈱）
- 副理事長＝加藤義章（㈱フジカ）
- 副理事長＝北川毅（タック㈱）
- 専務理事＝河原善高（事務局）

新執行部と共に、2期目の舵取りをする酒井理事長は、「昨年度、創立70周年という大きな節目を無事に終え、本年度から71年目という新たな一歩を踏み出した。本年度は各支部長をはじめ、委員会、役員陣にはフレッシュな顔ぶれを多数お迎えしている。この素晴らしい皆さんと共に、新体制で1年間、力強く事業を展開していきたい」と前置きし次のように述べた。

※酒井理事長の挨拶は別項参照

■「労務新人教育委員会」誕生

次いで、令和8年度事業計画の説明に入った。

三役直轄事業を箕浦副理事長が行ない、情報交換・親睦を図るゴルフコンペの開催。官公需対策については河原専務理事



フレッシュな顔ぶれと共に レジリエンスの更なる深堀と AI・デジタル技術の積極的な活用

「私たちはかねてより、地域の情報を担う、なくてはならない存在として、『エッセンシャル・クリエイティブ・パートナー』を目指してきた。印刷が持つ『彩り（いさど）』の力を活かし、業界全体を彩り豊かな、そして働く誰もが幸せになれる産業、すなわち『ハッピーイングストリー』にしていこうというスローガンを掲げ、全員一丸となって取り組んでいる。

印刷業が持つ、受託・請負中心のビジネスモデルから完全に脱却することは容易ではないが、数年前から大阪で始まった『ペーパーサミット』、そして愛知でもこれまで2回開催してきた『ワクワクぷりんと博覧会』などを通じ、B to C、B to Bの双方において、紙の持つ価値を再認識してもらう取り組みを地道に続けてきた。7月24・25の2日間、東京において『ペーパーサミット・ジャパン』が開催される。愛知からも多くの皆様にご参加いただき、市場や消費者の皆様へ向けて、紙の価値や魅力をさらに力強く発信していただきたい。

また、『レジリエンスアワード』では、組合員の皆様の素晴らしい活躍や、困難を乗り越える変革の姿が浮き彫りになった。しかし、こうした素晴らしい情報やノウハウが、まだまだ組合員全体に伝わりきっていないという課題もある。各支部長におかれては、ぜひ地域の組合員に光を当て、様々なレジ

リエンス（復活と再生）の取り組みを掘り起こしていただきたい。特に、アワードでグランプリを受賞された木野瀬印刷㈱さんが取り組まれた、決済システムの開発や地域流通への貢献は、非常に素晴らしい事例である。

現在、AI技術が目覚ましい進化を遂げている。これまで私たちが『紙』や『スタンプラリー』など、アナログで培ってきたノウハウや価値を、アプリ開発をはじめとするデジタルの力へ置き換えていくことで、我々の真価をさらに発揮できると考える。テクノロジーを恐れず、積極的に活用していきたい。最後に、全印工連が進める重要なプロジェクトについてお話したい。6月に日本最大級のプラットフォームとなる『J-CONNECT（ジェイ・コネクト）』が立ち上がる。これは全国3,500社の印刷会社をネットワークで繋ぐ非常に壮大な構想である。愛知県印刷工業組合としても、もちろんこれに深く参画していく。組合員各社が自社の情報や強みをこのプラットフォームに登録・発信していくことで、3,500社の仲間と繋がり、新たなビジネスや共同事業を創造（イノベーション）していくことが可能となる。ご期待いただき、皆様のビジネスの発展、そして全国の仲間との連携に大いに役立てていただきたい」

より説明が行なわれた。

人財育成・経営委員会は、箕浦副理事長と堺貴弘委員長が行ない、本年度より「労務新人教育委員会」と「経営革新委員会」が合同・統合し、新しく「人財育成経営委員会」が誕生したことを報告した。

CSR・ブランディング委員会は、竹倉副理事長と鈴木裕一委員長が行なった。最重要プロジェクトとして、本年度は、全印工連が主催する「ペーパーサミット・ジャパン」への協力、および同サミットに出展を予定している組合員企業・出展企業へのフォローアップを活動の中心に据え、業界のブランディングを強力に推し進めていくとした。

教育委員会は、加藤副理事長と松本高武委員長が行なった。主な実施事業として、印刷技能検定、プリプレス技能検定、印刷営業講座および印刷営業技能認定試験、その他、実務に直結する各種有益なセミナーの開催を報告。

組織共済委員会は、北川副理事長と杉谷芳紀委員長が行なった。人手不足対応としての「特定技能制度」の案内や、業務に不可欠な「Adobeライセンスプログラム」のメリットをしっかりと組合員に伝達し、組織の拡充・強化に努める。また、共済事業では、組合独自のスケールメリットを活かした各種共済制度の強みを再アピールし、組合員・従業員にとって真にメリットのある保険・共済の加入促進（新規・追加加入）に向

けた積極的なアプローチを展開していく方針が報告された。

続いて、来賓紹介の後、代表して2氏から祝辞が述べられた。

■積極的な展開で業界を力強く牽引

中部経済産業局今野直明産業部長の祝辞

「皆様方の営まれる印刷産業は、情報伝達という極めて重要な役割を担い、文化や知識の普及に大きく貢献されている。今後も多様化する社会的ニーズに的確に対応し、『価値創造形産業』へと変革を遂げていかれることで、さらなる発展を遂げられることを大いに期待している。先ほど酒井理事長の挨拶のなかにもあったように、まさに皆様が『エッセンシャル・クリエイティブ・パートナー』としての役割を果たしていくも



祝辞を述べる中部経済産業局の今野産業部長

副理事長と担当委員会



田中賢二副理事長
(統括)



箕浦靖夫副理事長
(人財育成・経営委員会)



竹倉幹雄副理事長
(CSR・ブランディング委員会)



加藤義章副理事長
(教育委員会)



北川毅副理事長
(組織・共済委員会)

のと確信している。

貴組合におかれましては、酒井理事長の強力なリーダーシップのもと、印刷関連業界の健全な経営環境づくりや、技能検定等の資格取得支援を通じた人材育成事業を精力的に推進されるなど、我が国の印刷業界および産業全般の発展にご尽力いただいていることに、改めて深く敬意を表したい。特に、2024年から開催されている『ワクワクぷりんと博覧会』は、印刷業界が持つ高い技術力と、クリエイターの優れたデザイン力を掛け合わせ、新たなオリジナル商品を開発・創出する素晴らしいプロジェクトであると承知している。

印刷業の新しい可能性を追求するこうした先進的かつ力強い取り組みを、今後もさらに積極的に展開され、業界を力強く牽引されることを期待している」

◎愛知県経済産業局産業部産業振興課長谷部淳課長の祝辞
「貴組合は昨年度創立70周年を迎え、長きにわたり中小印刷企業の地位向上と健全経営の環境づくりに向け、人材育成など各種事業に努められ印刷業界の発展に多大な貢献をされ

てきた。これまでの70年の間、活版、オフセット、デジタル印刷といった技術革新や様々な時代の変化に的確に対応されてこられた。時代の流れと共に技術転換や技術向上が増し、社会的な不確実性が高まる状況が続いている中、貴組合では70周年を機に未来を切り開く取り組みを行なう組合員を称える『レジリエンスアワード』を創設された。また、一昨年度から組合員企業と外部クリエイターとコラボレーションし、その成果物を発表、販売するイベント「ワクワクぷりんと博覧会」を開催されている。酒井理事長をはじめとして組合の皆様方が一丸となって印刷業界の新たな活動に向けた挑戦が続けられており、その取り組みに対し、感銘するとともに広く期待しているところである。愛知県としても、新商品の開発や販路拡大への助成、さらには経営革新支援など、地域で頑張っておられる皆さまに寄り添ったお手伝いをしていきたい」

続いて、閉会の辞を田中副理事長が行ない令和8年度通常総会を終了した。総会終了後には、懇親会が開催され情報交換と親睦に華が咲いた。

愛印協組・通常総会

組合会館の維持管理とバックアップ体制

鳥原理事長統投

愛知県印刷協同組合（鳥原久資理事長）の「令和8年度通常総会」が5月20日午後3時30分より、名古屋・伏見の名古屋観光ホテルにおいて、愛知県印刷工業組合に先立って開催された。総会では、提出されたいずれの議案も承認された。また、任期満了に伴う理事・監事の選出が行なわれ鳥原理事長の統投が決まった。

総会の冒頭挨拶に立った鳥原理事長は、日頃の組合活動への協力に対し謝意を表明。そして、組合の主要な使命について、「組合員の皆さんの運営が円滑に進むよう、施設などの管理を通じてバックアップすることである」と強調した。また、竣工から10数年が経過した組合会館（メディアージュ愛知）に触れ、「様々な設備において古くなり、周囲を含めて修繕などの時期を迎えている」と現状を報告。「今後も工業組合の皆さんに安心して使っていただけるよう、しっかりとした維持管理とバックアップ体制を築いていきたい」と、安全で安定した施設運営への決意を語った。

続いて、議案審議に入り、令和7年度事業報告及び決算関係書類承認の件、令和8年度事業計画及び収支予算承認の件などが審議された。その中で、河原善高事務局長よりメディ



アージュ愛知はテナント5室全てが満室で稼働、また、駐車場事業についても9区画全てが満室となっており、安定した施設維持・管理事業の状況が報告された。

任期満了に伴う役員選任では、引き続き鳥原理事長（株マルワ）が選任された。

なお、事業計画の基本方針には、「メディアージュ愛知が印刷業界の拠点として機能するよう維持管理に努めるとともに、愛知県内の印刷業者の団体である愛知県印刷工業組合の活動を側面から支援し、愛知県印刷産業団体連絡会の一員として、印刷産業の発展と向上のために尽くしていく」としている。

※修繕工事は、①LED照明交換工事（令和8年度実施計画）、②給水ポンプ整備工事（今後実施検討）になる。

愛知県印刷工業組合 令和8・9年度執行部及び委員会編制図

(注1) ○は 副委員長
※人数は委員長一任

(注2) 氏名の下
上段：TEL番号
下段：FAX番号

理事 長	70
酒 井 良 輔	
0569-21-2051	
0569-21-2062	

統括副理事長

田中賢二

052-722-0611
052-722-7007

副理事長

箕達夫

名鉄印刷印刷
052-561-3271
052-722-7007

副理事長

富田章裕

太東工業印刷
052-503-3231
052-503-8153

副理事長

近藤祐輔

新新印刷社
052-704-4802
0561-21-0395

副理事長

若國俊介

神サンプラット印刷
0568-32-2790
0568-33-0497

副理事長

中尾俊宏

例一紙社
052-851-1171
052-842-2824

副理事長

岡本泰介

例クイック
0566-24-5511
0566-26-0200

副理事長

柚木猛

例ニキ印刷工業
052-792-8218
052-792-7802

副理事長

山田康司

例フロストック
052-482-3117
052-482-3118

副理事長

高橋伸幸

例中部共同印刷
0568-71-1601
0568-71-1688

副理事長

伊藤亮仁

伊藤手帳
052-936-2363
052-936-2368

副理事長

辻義章

愛知印刷
052-331-9345
052-332-5435

副理事長

壁谷壮介

豊橋合同印刷
052-32-5533
052-32-6928

副理事長

ウエノ/例名古屋支店
竹村祥平

052-741-5351
052-733-2703

副理事長

宮原健太郎

例一紙社
052-365-5266
052-365-5277

副理事長

岩月琢也

例日月表広堂
052-521-0720
052-531-3905

副理事長

大河内泰雄

例大幸
052-220-5500
052-220-0155

副理事長

丹羽健太郎

例丹羽ブランド
0568-32-2091
0568-33-1602

副理事長

松本高武

例マフット印刷
052-411-4863
052-413-0648

副理事長

森川聡宏

例モリカババーベキュー
052-571-3306
052-571-3872

副理事長

柚木猛

例ニキ印刷工業
052-792-8218
052-792-7802

副理事長

若國俊介

例サンプラット印刷
0568-32-2790
0568-33-0497

副理事長

難波修平

例日合成
0564-21-7151
0564-24-3494

副理事長

上野恭嗣

例天白製本振工
052-622-3970
052-622-3990

副理事長

宮田洋敏

例ツルミヤ
052-915-0038
052-915-7747

副理事長

吉川直希

例ヨシノ印刷
0564-24-1218
0564-24-1968

副理事長

此島誠司

例コンシマスクリーン
0568-73-6111
0568-73-4648

副理事長

飯野益通

例野豊印刷社
0532-88-5336
0532-88-5339

副理事長

磯員健

例野田印刷
052-331-8881
052-332-3178

副理事長

伊藤公一

例アイビーネット
052-991-2388
052-914-5064

副理事長

近藤起久子

例近藤印刷
052-361-5445
052-362-6759

副理事長

前田潤二

例コロ美術印刷
052-902-0045
052-902-8835

副理事長

酒井祥宏

例サカイ印刷
052-501-0754
052-502-9674

副理事長

安田智雄

例安田印刷工業
052-571-1376
052-571-1200

副理事長

度会秀子

例豊川印刷
0533-86-3349
0533-86-7826

副理事長

岩田敏宏

例アイチビジネスフォーラム
0568-33-6074
0568-33-2041

副理事長

松本高武

例マフット印刷
052-411-4863
052-413-0648

副理事長

森秀子

例アサブリールホールディングス
0594-23-5519
0594-23-5855

副理事長

森龍也

例森印刷
052-503-1681
052-503-5900

副理事長

末次高朗

例大岡至高朗
052-792-8841
052-792-8845

副理事長

度会秀子

例豊川印刷
0533-86-3349
0533-86-7826

副理事長

北川 毅

例タック印刷
052-361-0833
052-351-5644

副理事長

加藤義章

例フジカ
0568-89-3661
0568-89-3668

副理事長

太田善久

052-331-8741
052-331-6461

副理事長

高井英和

例フリーデック印刷
0563-55-0707
0563-55-0202

副理事長

梅メイセイプリント

0568-26-1385
0568-26-1370

副理事長

清水幹友

例愛知印刷
052-331-9345
052-332-5435

副理事長

常川知泰

例常川印刷
052-262-3028
052-262-1085

副理事長

大河内孝司

例大澤堂
052-352-3451
052-363-1431

副理事長

江端茂義

例大信印刷
052-871-5831
052-871-5933

副理事長

高橋伸幸

例神中部共同印刷
0568-71-1601
0568-71-1688

副理事長

山本芳弘

例昭和印刷
0564-53-1155
0564-55-0250

副理事長

神エムアイシーグループ

0563-56-5111
0563-56-5166

副理事長

度会秀子

例豊川印刷
0533-86-3349
0533-86-7826

副理事長

若國俊介

0568-32-2790
0568-33-0497

副理事長

木野瀬将大

0568-31-3118
0568-33-7027

副理事長

全青協担当

0568-32-2790
0568-33-0497

副理事長

若國俊介

0568-32-2790
0568-33-0497

副理事長

木野瀬将大

0568-31-3118
0568-33-7027

JBMIA

デジタル印刷物への環境ラベル

「Digital Print マーク」新設

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)の商用デジタルプリンティング部会は、商用デジタル印刷分野における環境配慮の取り組みの一環として、環境ラベル「Digital Print マーク」(デジタルプリントマーク、略称:DPマーク)を立ち上げた。これは環境ラベル基準を満たした商用デジタル印刷機によって制作された印刷物にDPマークの表示が認められるもので、本ラベルは、受領者が該当印刷物について環境配慮の下で製造されたことを一目で識別できるように設計されている。また、印刷物発注企業及び印刷事業者が自社の環境対応方針を消費者に直接的かつ効果的に訴求する手段として活用できる。

デジタルプリントマークは、登録されている商用デジタル印刷機で印刷された印刷物に付けることができる。マークは「digital」と「print」の頭文字であるdとpを合わせ、葉の形を思わせる自然をイメージしたシンボリックなデザインで、曲線と直線を合わせて斜体にする事でシャープな印象を持たせ、ロゴタイプを合わせてデジタル印刷の先進性や現代のビジネスのスピード感を感じさせるデザインとなっている。デジタルプリントマークが付いていることで、「その印刷物が環境に配慮した商用デジタル印刷機で印刷されたものであることを一目で知ることができ、さらに、印刷物の作成に商用デジタル印刷機を選択した印刷発注者や印刷会社の環境負荷軽減に向けた姿勢を示すためのツールになる」とし、DPマークの活用を勧めている。これにより、「必要なときに、必要な分だけ、少部数を印刷をすることで、紙や印刷資材の無駄を減らし、印刷物の過剰在庫や廃棄の抑制を推進しようとする印刷発注者や印刷会社の思いを、印刷物を手にする消費者に直接伝えることができる。

基準を満たした商用デジタル印刷機によって制作された1



環境ラベル
「DP マーク」

紙面当たり5,000部以下の小ロット印刷物にDPマークの表示を認めている。

印刷会社は次の手順で申請し登録を受ければ無償でマークの使用ができる。①出力に利用する商用デジタル印刷機がデジタルプリントマーク適合製品であることの確認②各メーカーへの商用デジタル印刷機使用機器確認依頼③商用デジタル印刷機メーカーによる機器使用の確認④JBMIAへのデジタルプリントマーク利用申請⑤デジタルプリントマークのダウンロード。

現在、参画メーカーは以下の7社になる。キヤノン(株)/京セラドキュメントソリューションズ(株)/コニカミノルタ(株)/セイコーエプソン(株)/富士フイルムビジネスインベション(株)/株式会社理想科学工業(50音順)

※ 詳細については、JBMIA「DP マーク」のWEBページ (HYPERLINK "<https://cdp.jbmia.or.jp/dp-logo-home/>"<https://cdp.jbmia.or.jp/dp-logo-home/>)、または、JBMIA事業推進部環境ラベル (dp-loge@jbmia.or.jp) まで。

■(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(JBIMI)は、ビジネス機械とそれに付随する情報システム産業の発展に貢献する団体。1960年に11社からの発起人により任意団体「日本事務機械工業会」を設立し、半世紀以上にわたり活動してきた。1966年社団法人としての認可を受け、2002年に「ビジネス機械・情報システム産業協会」に名称を改め、さらに2012年4月から一般法人に改組している。

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



P-MAN Business e-Brain
Print Manager

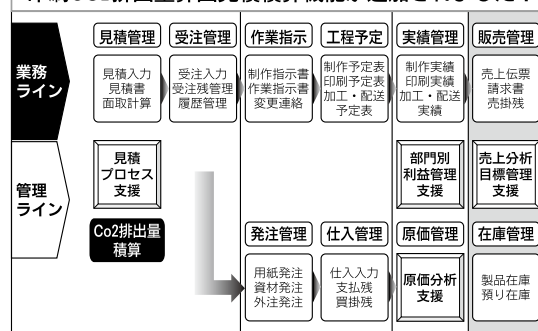
見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』

『今こそ!!情報の見える化(MIS)』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました!



株式会社 モトヤ

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2-8
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5

☎(06)6358-9131代
☎(03)3523-711代

PICKUP NEWS

経済産業省・中小企業庁

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」

プリ・テックが選ばれる

経済産業省・中小企業庁は、革新的な取り組みや地域貢献を行なう企業を選定・表彰する2025年度「はばたく中小企業・小規模事業者300社」を公表した。成長戦略・生産性向上や海外展開、DX、GX、人への投資・環境整備などの5分野で優れた成果を上げている企業が選ばれている。授賞式は5月29日東京・霞が関の経済産業省講堂で行なわれた。

【選定の主なポイント】

●選定の目的：経済社会構造の変化に対応して、事業改革や新規事業に挑戦し、人材育成などに果敢に取り組む中小企業を広く社会に周知すること。

●主な分野：地域経済や日本経済の成長が期待できるモデルとなる「成長戦略・生産性向上」、「海外展開」、「GX(グリーントランスフォーメーション)」、「DX(デジタルトランスフォーメーション)」、「人への投資・環境整備」の5つの分野で優れた取り組みで評価される。

●評価のメリット：選定されると公式な表彰による認知度や企業価値の向上のほか、金融支援や各種補助金・公的支援での加点など、さまざまなメリットが期待できる。

中部経済産業局管内からは、47社(富山県5社、石川県3社、岐阜県7社、愛知県27社、三重県5社)が選定された。

今回、印刷関連業界から、プリ・テック(株)(高井英和社長、愛知県西尾市)、(株)ヨシモト印刷社(吉本孝志社長、静岡県葵区)、丸栄紙業(株)(杉山善久尚社長、大阪府東大阪市)が選ばれた。※プリ・テックの選定分野は「成長戦略・生産性向上」。

中小企業庁

「省力化ナビ」

省力化・生産性向上へヒント

中小企業庁は、内閣官房が取りまとめる「省力化投資促進プラン」を実効し、中小企業・小規模事業者等の人手不足や賃上げなどの課題に対応するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構及び関係省庁と連携して、省力化や生産性向上へ第

一步を踏み出すヒントを提供する支援サイト「省力化ナビ」を公開した。省力化ナビでは、業種別に特化したノウハウを整理し、課題とその解決策のポイントやアドバイスをイラストで分かりやすく例示しており、設備選定やアプリケーション、導入費用や相談窓口情報をワンストップで提供している。

中小企業・小規模事業者等に加え、業界団体、商工会、商工会議所、中小企業団体中央会、金融機関、よろず支援拠点(生産性向上支援センターを含む)など、地域の支援機関の支援ツールとして、事業者との対話時や伴走支援を行なう場面でも活用できる。

製造業、飲食業、小売業、宿泊業、建設業、運輸業、自動車整備業等の業種別に対応。

▼省力化ナビの使い方

①業種の選択=フォームに沿っていくつかの質問に答える。業種、所在地、従業員数、事務所数、資本金(任意)、売上高(任意)。

②簡易チェック=業種別のよくある悩みをイラストで表示、気になるキーワードをチェック。

③解決策の例やヒントをイラストで表示=●解決策別のポイントやアドバイス●設備選定やアプリ、導入費用の紹介●補助金や相談窓口の紹介●取り組み事例の紹介。利用は無料。

省力化ナビを活用すると、「中小企業省力化投資補助金(一般型)」、「デジタル化・AI導入補助金(複数者連携デジタル化・AI導入枠を除く)」の採択審査における加点要件となる。

※「省力化ナビ」Webサイト

HYPERLINK "<https://labour-saving.smrj.go.jp/>"
https://labour-saving.smrj.go.jp/

※「省力化ナビ」概要チラシ

HYPERLINK "<https://labour-saving.smrj.go.jp/assets/doc/flyer.pdf>"
https://labour-saving.smrj.go.jp/assets/doc/flyer.pdf



「省力化ナビ」を解説したチラシ。Web サイトから検索が可能。

meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市中区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418

創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。

デザイン～印刷まで
トータルサポート

お気軽にお問合せ下さい。

カラー印刷全般

株式会社 プロスペック

〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL:052)482-3117(代表)
FAX:052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

2026年版中小企業白書・小規模企業白書

「稼ぐ力」を高め「強い中小企業」へ 経営環境の転換期、現状維持は最大のリスク

中小企業庁は、「2026年版中小企業白書、小規模企業白書」を発表した。それによると、「現状維持は最大のリスク」と断言し、価格転嫁の推進やAIの活用、そして、「稼ぐ力」を高め「強い中小企業」へと成長することが重要としている。要旨を紹介。

◎中小企業白書・小規模企業白書メッセージ

●中小企業では、春季労使交渉において約30年ぶりの賃上げ水準が続き、最低賃金の引上げも進んでいる。日本経済の成長にとって、中小企業の持続的な賃上げの実現は極めて重要であるが、大企業と比較して中小企業の賃上げ余力は厳しいため、更なる賃上げ原資の確保が課題となる。

●2010年代以降多くの業種において人手不足感は強まっている。一定の試算に基づけば、労働供給制約社会の到来に伴い、中小企業の雇用者数は減少が見込まれ、人手不足は更に深刻になるおそれがある。

●こうした経営環境の転換期にある中で、現状維持は最大のリスクといえるだろう。短期的な損益を追うのではなく、長期的な視点で事業構造・組織構造を再構築していく「戦略」を持った経営に転換し、「稼ぐ力」を高め、「強い中小企業」へと成長することが重要である。

◎中小企業白書・小規模企業白書分析のポイント

(1)「強い中小企業」に向けた「稼ぐ力」の強化

「稼ぐ力」とは、付加価値を生み出す力であり、労働供給制約社会の中で、労働投入量の減少が見込まれる我が国にお

いては、付加価値額を維持・増加させるために、労働投入量当たりのパフォーマンスを示す「労働生産性」の向上が不可欠である。中小企業の労働生産性の状況を確認すると、一人当たり労働時間は減少しつつも、付加価値額が増加していることから、時間当たり労働生産性は上昇傾向にある。また、大企業と遜色ない労働生産性を誇る中小企業も存在している。

労働生産性の更なる向上に向けては、価格転嫁の推進、成長投資による製品・商品・サービスの高付加価値化、事業承継・M&Aによる事業再編をはじめとした「付加価値額の増加」と、AI活用・デジタル化の促進による「労働投入量の最適化」に取り組むことが重要である。実際にこれらに取り組む企業は、取り組んでいない企業と比較して、付加価値額増加や労働投入量最適化を実現していることが確認できた。

(2)小規模事業者の経営リテラシー向上と企業間連携による事業の維持・拡大

経営リテラシーを「財務・会計」、「組織・人材」、「運営管理」、「経営戦略」の4つの類型に分けて分析し、小規模事業者における経営リテラシーの現状には改善の余地があるが、経営リテラシーを有する事業者は、業績や人材確保等において明確な違いを生み出していることを示した。例えば、原価管理を詳細に行う事業者ほど価格転嫁率が高く、組織活性化に取り組む事業者では採用に成功している傾向がある。また、小規模事業者の経営資源は限られることを踏まえれば、他の事業者との連携により「経営力」を補完することも有効な手段の一つであると考えられる。本書では、事業の維持や拡大を図る小規模事業者にとって、企業間連携によって相互に補完し合うことが有効な取り組みであることを示した。

JAGAT

Page2027の概要発表

テーマ『なぜ、いま印刷するか』

日本印刷技術協会（JAGAT）は、2027年2月17日から19日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティにおいて印刷メディアビジネスの総合イベント「page2027」を開催する。テーマを『なぜ、いま印刷するか』に決定した。2027年

はJAGATの設立60周年及びpage展の開催40回目の節目の年となる。JAGATでは関連する記念行事の開催も予定している。テーマ『なぜ、いま印刷するか』には、デジタルと紙のそれぞれの強みを掛け合わせ、人の心に届くコミュニケーションを問い直す意図が込められている。速報性や拡散性に優れたデジタルと、手触り、編集性、信頼性、保存性を持つ紙・印刷を融合させ、印刷物だからこそ伝えられる価値を再考する。

●開催概要／日時：2027年2月17日（水）～19日（金）、会場：サンシャインシティ（東京・池袋）。

盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料



株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区栄木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

高精細印刷と PUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

●「ペーパーサミットJAPAN」のご案内

紙を知り、紙で遊ぶ 「ペーパーサミットJAPAN」

7月24・25日開催

東京・都立産業貿易センター浜松町館

【愛印工組からも多数出展】

全日本印刷工業組合連合会、日本洋紙板紙卸商業組合・主催、日本製紙連合会・協力で、紙を知り・紙で遊ぶをテーマに「ペーパーサミットJAPAN」が、7月24日(金)、25日(土)の2日間、東京都港区の都立産業貿易センター浜松町館3階において開催される。また、「MUDメディア・ユニバーサルデザインフェア2026」も同時開催される。

全印工連では、「紙のある暮らし」をもっと豊かにするとともに、業界内外に紙に対する正しい情報を紹介し、意識を変える目的で、2025年度から紙のポジティブキャンペーン活動に関連業界と協力して展開してきた。今回開催の「ペーパーサミットJAPAN」は、キャンペーン活動の集大成として企画されたイベントになる。

▼紙を知り、遊ぶ、楽しむ

イベントは、●学ぶ=TALK(トークセッション)、●遊ぶ=FACTORY(ワークショップ)、●楽しむ=MARKET(グッズマルシェ)、●感じる=GALLERY(アートギャラリー)の4本柱で構成される。

全国の印刷会社が開発したオリジナル商品の展示・販売、紙や印刷にまつわる作品展示、セミナーなどを通して、紙と印刷の魅力や新しい可能性を知って、感じてもらう場となる。

ペーパーアートギャラリーでは、紙技大賞、全国カレンダー展、全国カタログ展造本装幀コンクールの受賞作品及び大阪府印刷工業組合が昨年企画した「Print LOVERS OSAKA 2025」の出品作品などを紹介する。

▼トークセッションのプログラム

【7月24日(金)】

●「新しいMUDが描く誰一人取り残されない未来」浦久保康裕氏(NPO法人メディア・ユニバーサルデザイン協会理事長)

時間:11時～12時30分

●「紙と環境について考える～環境にまつわる紙に対する誤解を解説します！」門田克行氏(日本製紙連合会総務・広報部国際担当部長)

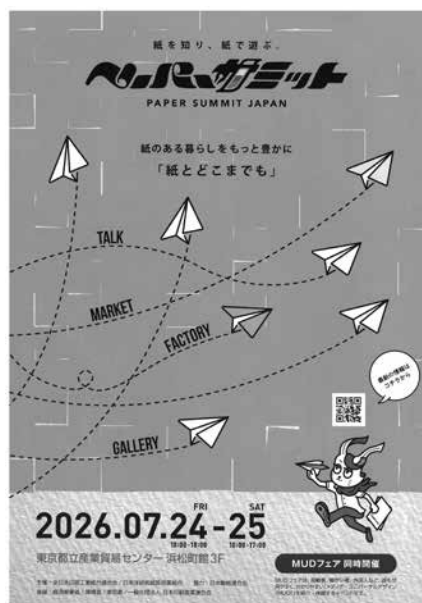
時間:13時～14時30分

●「エビデンスが示す紙の本当の価値～デジタルメディアとフィジカルメディアの比較」柴田博仁氏(群馬大学大学院教授)

時間:15時～16時30分

【7月25日(土)】

●「(親子向け)カタチだけで伝えてみよう！ユニバーサル



な標識デザインワークショップ」徳間貴志氏(㈱ボウルグラフィックス)

時間:11時～12時30分

●「インターネットが、それなんですか？の時代の話から今。」北川一成氏(グラフ㈱代表取締役)

時間:13時～14時30分

●「知っているようで知らない！魅惑の紙の世界」津田淳子氏(デザインのひきだし編集長)

時間:15時～16時30分

■「MUDフェア」同時開催

同時開催される「MUDフェア」は、「MUDを知る・学ぶ」(セミナー・ワークショップ)と「MUDを見る・触れる」(展示コーナー)を柱に、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが見やすく、分かりやすい「メディア・ユニバーサルデザイン」を紹介・体験するイベントとなる。

【愛印工組からの出展社】

愛知県印刷工業組合CSR・ブランディング委員会、㈱鈴木紙工所、㈱天白製本紙工、豊橋合同印刷㈱、太美工芸㈱、㈱サンアート印刷、昭和印刷㈱、モリカワペーパー㈱、鬼頭印刷㈱、㈱若月末広堂、知多印刷㈱、㈱マルワ、川口合成㈱

※開催時間:7月24日(金)AM10:00～PM16:00 / 7月25日(土)AM10:00～PM17:00

※東京都立産業貿易センターは、JR浜松町駅(北口)から徒歩5分、東京モノレール浜松町駅(北口)から徒歩5分

お知らせ

■人財育成・経営委員会

令和8年度「印刷現場の職長教育」

～職長教育で学び、語り合い
現場改善のヒントを持ち帰りませんか～

愛知県印刷工業組合（愛印工組）人財育成・経営委員会では、印刷業においても義務化されている「職長教育」について、下記要領で開催します。

職長教育は、危険を伴う現場作業を安全に行うために指定された安全教育となっていますが、当組合では印刷現場に即した事例と副教材を用意して、グループワークを取り入れながら現場の安全と改善につながる研修を行ないます。参加者同士の意見交換・情報交換では、受講者から「同じ悩みを抱えていることが分かった」「他社の取り組みが参考になった」などの声も多く寄せられ、現場課題について率直に話し合える貴重な機会となっています。

職長（管理職）の方は勿論、将来のリー

■全印工連

令和8年度「印刷営業講座」開催

Zoomによるオンライン開催
「印刷営業士」取得に最適の講座

全日本印刷工業組合連合会（全印工連）では、印刷営業活動に必要とされるマーケティング、印刷技術、関係法規等の専門知識を修得する基層講座「印刷営業講座」を開講します。労働大臣認定の「印刷営業士」取得を目指す方にとっては最適な講座となっています。奮ってご参加ください。

【開講概要】

●講習期間：令和8年9月4日（金）13：00～18：00／9月8日（火）・9日（水）：13：00～16：00／9月15日（火）、16日（水）13：00～18：00

※5日間の受講で修了

●講習方法：Zoomでのオンライン開催

※受講用URLは前日までに申込書に記載のメールアドレスに送付、テキストは発払いにて、会社ごとにまとめて送付

●講座内容：印刷営業の基本からマーケティング、グループワーク、関係法規、見積算実務等

ダー候補や現場を支えるスタッフの皆さんにとっても、現場の安全文化を育て、チームの力を引き出すための有意義な内容になっています。是非、この機会にご参加をご検討ください。

【開催概要】

●開催日：令和8年8月28日（金）～29日（土）の2日間

●開催時間：9時～16時30分／受付開始8時45分、講習時間13時間（6.5時間×2日間）

●会場：メディアージュ愛知3階会議室（名古屋市東区泉1-20-12、TEL052-962-5771）

※地下鉄桜通線「高岳」1番出口より徒歩3分、駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください

●講師：鳥原久資氏（㈱マルワ）

●定員：24名（先着順）

●受講料：組合員19,800円／一般23,100円（テキスト代・税込）

●申込締切日：令和8年7月31日（金）

※定員に達し次第締め切ります

●申込・問い合わせ先：愛印工組
TEL052-962-5771（担当：勝野）

●講師：宮本泰夫氏（㈱バリユーマシーンインターナショナル）、高見隆登氏（一財）経済調査会）

●受講対象：印刷営業の実務経験1年以上の方

●定員：最大40名

●修了証交付：全講座（21時間）の内15時間以上出席した方に修了証を公布

●受講料：組合員20,900円（税込）、一般38,500円（税込）

●申込期限：令和8年8月21日（金）

●申込方法及び問い合わせ先：全印工連（東京都中央区新富1-16-8 TEL03-3552-4571／担当：事業課加賀）

■愛印工組と関連業者

「親睦ゴルフコンペ」のご案内

恒例となりました愛知県印刷工業組合及び関連業者「親睦ゴルフコンペ」を開催いたします。このゴルフコンペは、愛印工組組合員と関連業者の皆様との交流・親睦を目的に毎年開催しております。プレー後のパーティーも予定しておりますので、お一人様でも、また、関係各位をお誘い合わせの上でも、ゴルフがお好きな皆様方にご参加いただきたく、再度ご案内をさせていただきます。

【開催要領】

●開催日時：令和8年9月8日（火）、8：00スタート18組予定

●場所：セントクリークゴルフクラブ3コース同時スタート（豊田市月原町黒木1-1、TEL0565-64-2121）

●会費：5,500円（お一人様、消費税税込）

●プレー代：23,000円（予定、お一人様、当日各自にて清算ください）

※キャディー付きプレー代、昼食+1ドリンク、茶店2ドリンク、パーティー代含む）

●問合せ：愛印工組事務局（担当：勝野、TEL052-962-5771）

※Eメール：jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

編集だより

■令和8年度通常総会の模様を紹介しました。基本方針、事業内容などが明らかになりましたので一読下さい。酒井丸2期目の船出がスタートしました。盛り沢山の情報が積み込まれていますのでご期待下さい。

あいちの印刷

No.656

令和8年7月10日発行

発行人

編集

発行所

〒461-0001

酒井良輔

組織・共済委員会

愛知県印刷工業組合

名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL (052) 962-5771

FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWiSE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070

FAX 052-528-1071

E-mail: ad-wise@ad-wise.biz <https://www.ad-wise.biz/>

字由字在

モリサワ

文字とつながる。世界がひろがる。



Morisawa Fonts

フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー／複数デバイスでの利用／簡単なフォントインストール



Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511

紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507

皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518

地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 アクスアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <https://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品

グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

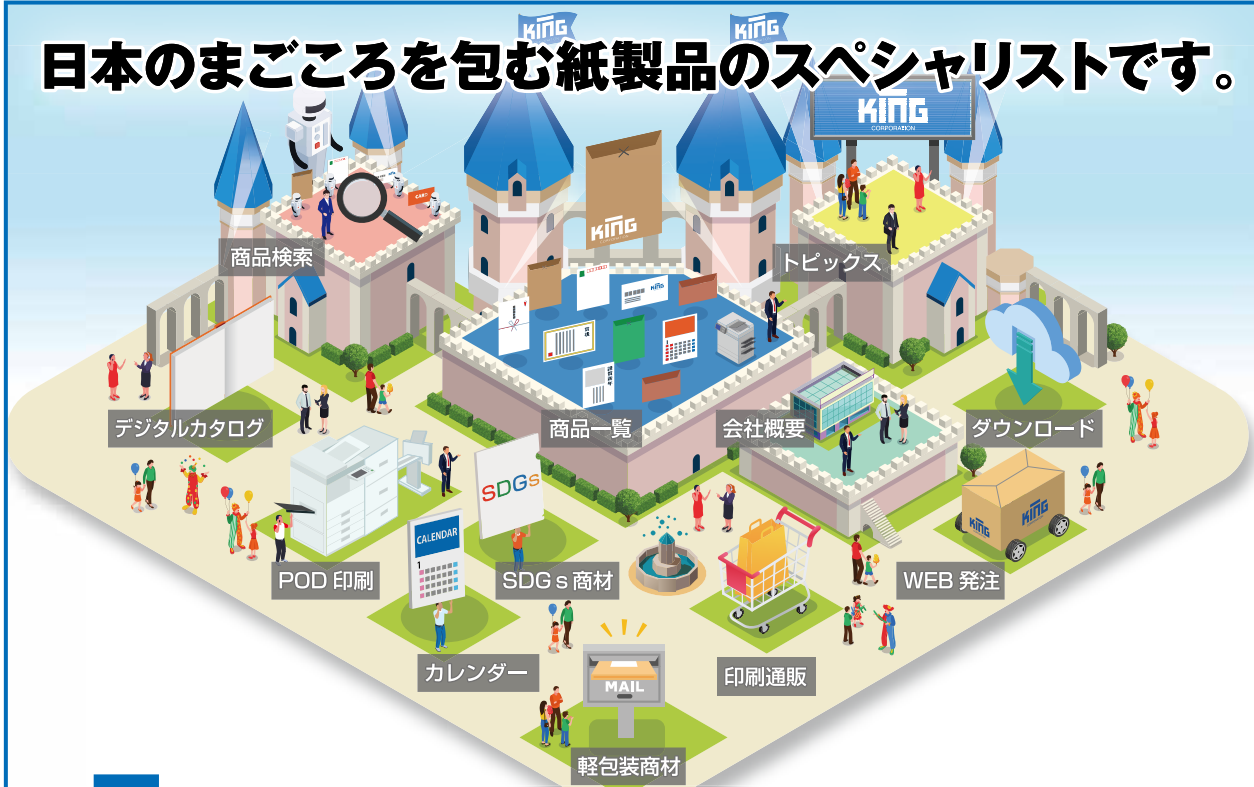
デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



日本のまごころを包む紙製品のスペシャリストです。



株式会社キングコーポレーション

本社／〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL:052-961-7661
名古屋本店／〒490-1113 愛知県あま市中萱津大坊30番地 TEL:052-444-7151・7161



現在・過去・未来 その先へ

KOBUNDO

<http://www.kobundo.co.jp>

K BAZAAR

KOBUNDO Online Shopping Mall

<https://ec.kobundo.co.jp/>

KBD New Products

オンデマンド段ボール加工機 (強化ダンボール対応)

KBD AUTO SLOTTER AB2500 HD

各種特許を取得した構造設計により、強化段ボールをワンパスで連続生産可能にしたモデル

1回の操作で、裁断、溝切り、段違いの線検、段潰し、手穴あけなど、この1台で対応可能



オプションにて幅方向の2面付け加工に対応

自動給紙カッティングマシン

NEW

KBD AUTO CTM 0710 PLUS

B1相当サイズ・菊全判サイズオフセット印刷、オンデマンド機B2サイズまでのシール、ラベル、コートボール、15mm厚までの段ボール等の紙器を自動給紙、カット、排出処理を全自動で行います。15mmまでの各種ボードや硬い樹脂板のカットも連続処理ができます

- QRコードもスキャンしてカットデータファイルを自動取得し、連続で異なったカットを行えます。
- ドラックナイフ2本・電動振動刃・ユニバーサルカットツール・筋押しホイールが標準装備です。

ルーターで15mmまでのアクリル板加工ができます。

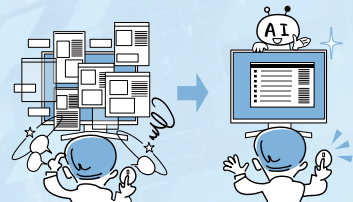


生成AIで実現する印刷前データ校正システム

NEW

KBD ファイナルデータアドバイザー

文字校正だけじゃない！AIがデザインのアドバイスまでしてくれる画期的なシステム登場！



QRコードチェック用ソフト

NEW

KBD QRエビデンサー AD

ご好評いただいている KBD QRエビデンサーが進化！レポート作成前に、システムが認識した二次元コードを

事前に確認できる新たな機能を追加！



スマホに表示されたPDF上のQRコードがタップできる

NEW

KBD リンクリンク AD

ご好評いただいている KBD リンクリンクが進化！新たにSNS用の二次元コードもタップできるようになりました！



印刷機材の総合商社

株式会社

光文堂

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所／北海道
青森・山形・千葉・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・徳島・山口・大分・熊本・沖縄
事業部／カラーステーション・Pro-vision 技術部／KOBUNDOテクニカルステーション